

市販ソフトウェア製品のご紹介

設計データのデジタル化を実現する次世代設計ツール

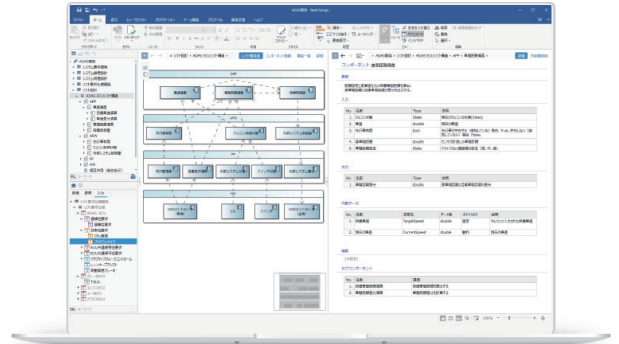
NEXT DESIGN

Next Designはシステムとソフトウェア開発のための次世代設計ツールです。
各工程の設計情報の構造と関連を定義した「メタモデル」と、それを表現するための図・文書表現である「ビュー定義」を開発現場の観点・用途に合わせることで専用の設計ツールにできます。

POINT

- 開発プロセスの設計情報をそのままツールで表現
- モデリングツールに文書・トレーサビリティ機能を融合
- プロダクトライン開発支援機能を搭載
- エクステンションで自由に拡張

2ページ～



設計レビュー支援ツール

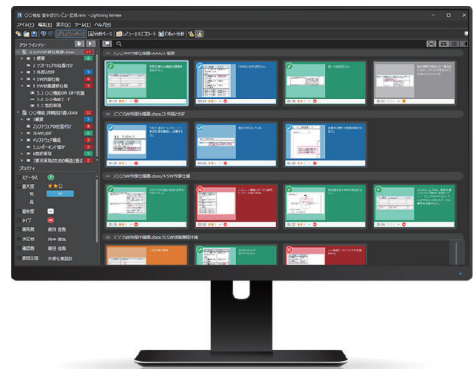
Lightning Review

Lightning Reviewは、ソフトウェア開発やハードウェア設計など、あらゆる知識労働の現場で日常的に行われている「作業成果物のレビュー」を支援するツールです。直感的な操作でスピーディーなレビューを実現するとともに、レビューを見える化することで、成果物の品質向上につなげることが

POINT

- 見たままを“ダイレクト”に伝える
- レビューの状況が“一目”で把握できる
- 指摘・問題の“バランキ”が見える

7ページ～



工数管理・プロジェクト管理ツール

TIMETRACKER NX

TimeTracker NXは、「現場の活動を支援する」をコンセプトにした工数管理・プロジェクト管理ツールです。
デンソークリエイトが業務の可視化と改善のために継続してきた、工数計測のノウハウから生まれました。

POINT

- 1分でできる工数入力
- 現場の試行錯誤が生んだプロジェクト管理
- データを改善活動に活用する

11ページ～



DENSO
Crafting the Core

株式会社デンソークリエイト

システム・ソフトウェア設計ツール



NEXT DESIGN



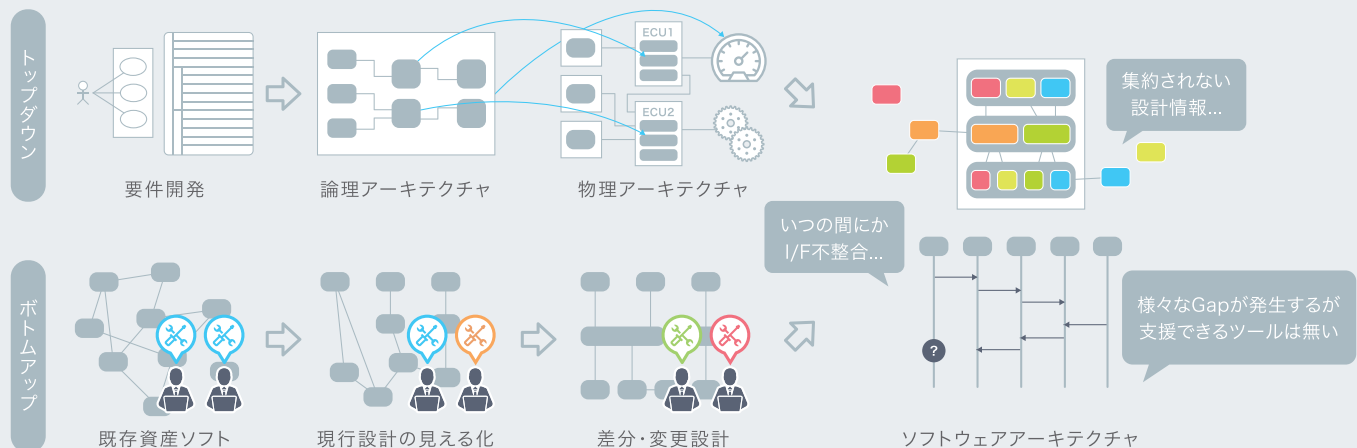
NEXT DESIGN

システム・ソフトウェア設計ツール

大規模システム・ソフトウェア開発が抱える課題

サービスの高度化によって、システムやソフトウェアは大規模化・複雑化が進んでいます。
これに伴って会社・部署を跨いで複数のチームが並行して開発を行っています。

並行・分散で進める大規模な開発では要求分析から始めるトップダウン開発のアプローチだけではなく、
既存資産を活かせるように進めるボトムアップ開発のアプローチが不可欠であり、現場で人が両立させています。



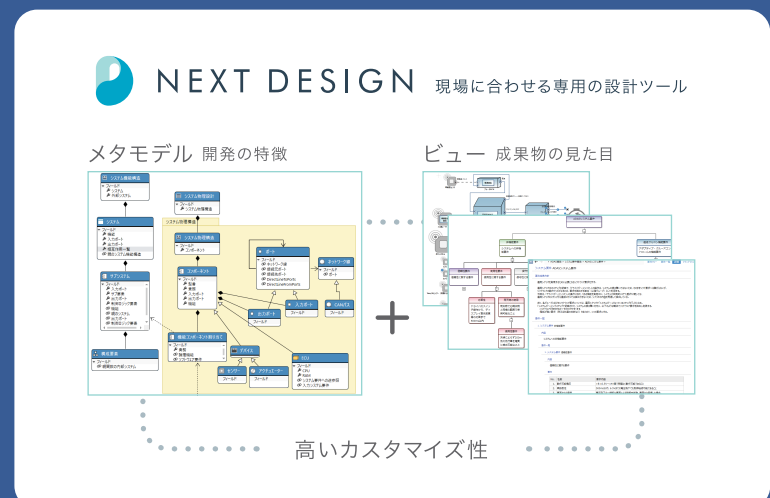
ツールを現場のプロセスに合わせるというアプローチ

Next Design はシステムとソフトウェア開発のための次世代設計ツールです。
各工程の設計情報の構造と関連を定義した「メタモデル」と、それを表現するための図・文書表現である「ビュー定義」を開発現場の観点・用途に合わせることで専用の設計ツールにできます。

従来方式



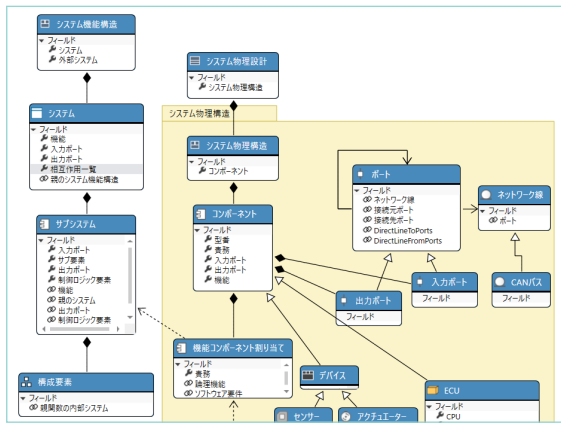
設計情報のデータベース (デジタル化)



ノンプログラミングで専用の設計ツールに

メタモデルで開発の特徴を定義

各工程の要件や設計情報の構造と関連をクラス図で定義。製品ごとに異なるアーキテクチャや設計プロセスを具現化します。

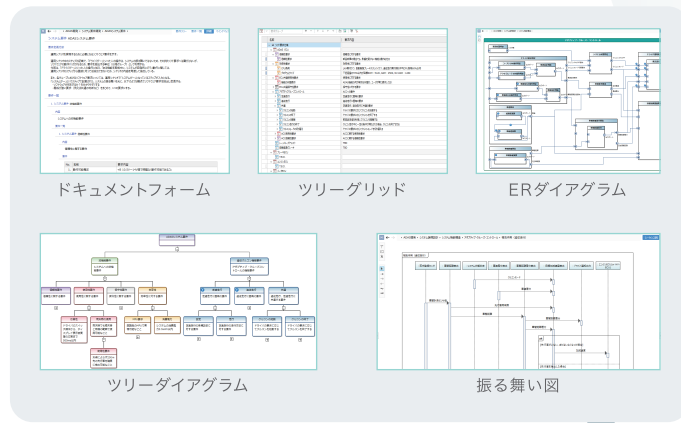


ビューで成果物の見た目を定義

特許 第6847382号

設計の観点や成果物の用途に合わせて定義。

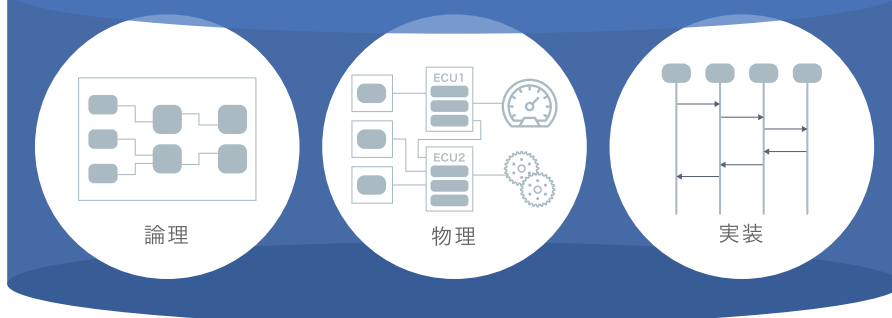
Word ライクな文書表示から Excel のようなグリッド、ダイアグラムまで同じ設計データを多彩な表現に切り替えることができます。



デジタル化

メタモデルで設計のデジタル化を促進

メタモデルに基づく設計情報

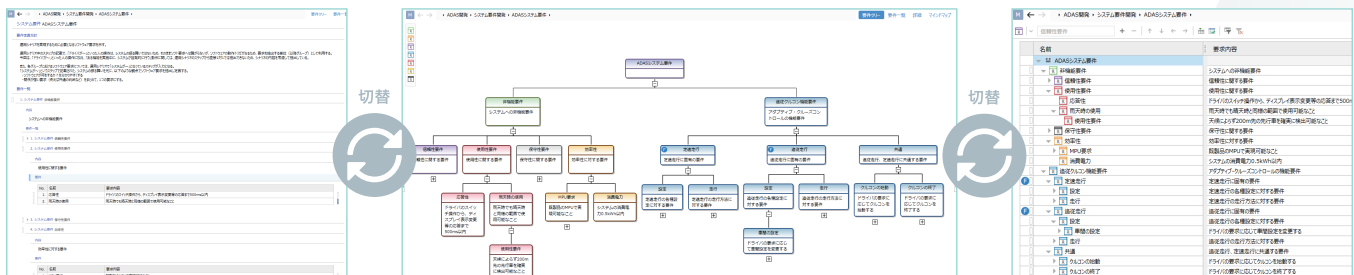


一元化

システム設計からソフトウェア設計までの設計情報のデータベース化を支援

メタモデルとビューで専用ツールに

現場の強みを活かしつつ、開発の実情に合う設計ツールになります。



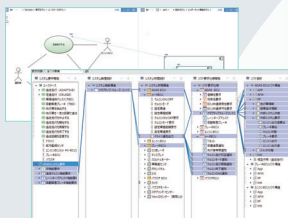
変更は他のビューも追従

設計者が設計内容を変更すれば、関連するすべてのビューに自動で反映されます。設計データは常に最新になり更新漏れの心配がありません。

設計しながらトレーサビリティを記録

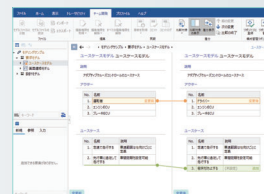
設計情報間の関連がそのままトレーサビリティになります。逐次確認できるため変更による影響範囲を分析しながら設計ができます。

特許 第6847382号



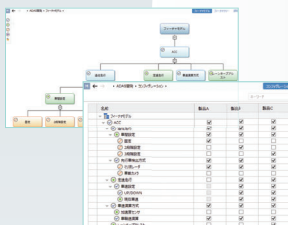
変更差分の確認

過去のプロジェクトやリビジョンとの差分を比較し、変更箇所を特定できます。



プロダクトライン開発をサポート

「プロダクトライン」を設計ツールとして搭載。専用ソフト不要で複数製品の設計を実現できます。プロダクト適用後の設計情報は個別にエクスポートできます。



CLIによるCI/CD活用

Linuxでも動作するコマンドライン版 Next Design でプロセスの自動化を加速します。独自の整合チェックや自動変換、エクスポートなどを自動化できます。



エクステンションで機能拡張

独自の機能をプラグイン可能です。UIのカスタマイズから外部ツールとの連携や設計情報の一括検証までできることは様々です。



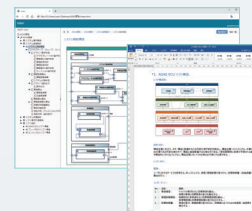
<例>

設計情報検証
・定義漏れや
記述ルール違反のチェック
・I/F 未接続・不整合チェック
ツール連携
・既存資産からの移行支援
(Excel シート・インポート)

今まで通りの文書で提供

設計情報を Word/HTML ドキュメントとして出力できます。顧客への納入、委託先への文書提供には今まで通りの Word 形式を用いることができます。

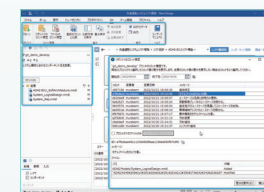
下記の形式で出力できます。
・Word
・PDF
・HTML
・画像形式



設計をサポートする様々な機能

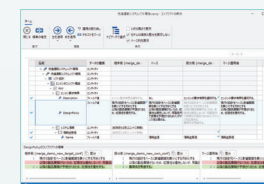
構成管理システムと連携

Git、Subversion と連携。コミットや排他ロックなどの操作をツール上で完結できます。



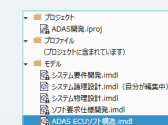
Git を利用した分散開発を実現

独自のマージツールにより、設計モデルの部分的なマージが可能です。コンフリクトが発生した場合は、UI 上で確認しながら 3-way マージで解消できます。



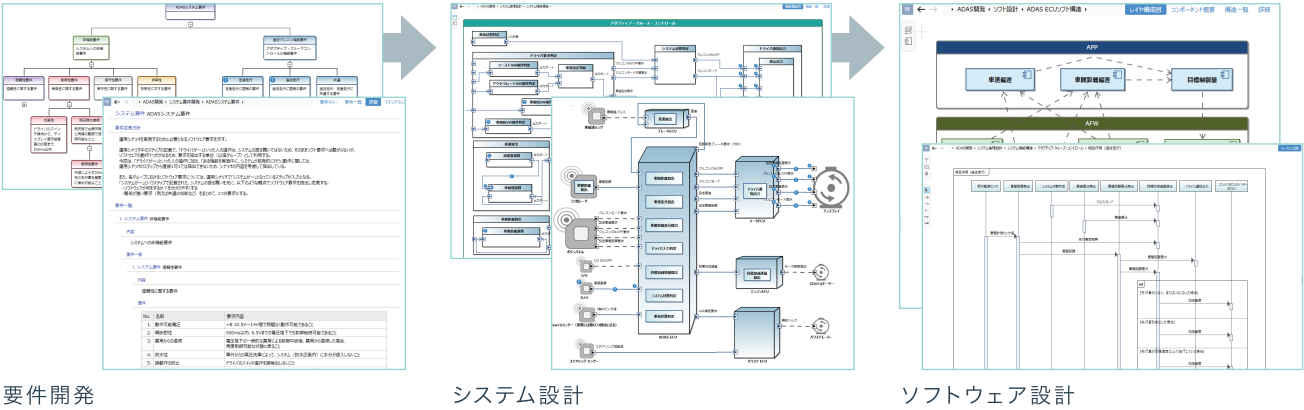
設計の分担

設計情報ファイルを分割して複数のチームで並行開発したり、別プロジェクトからの流用ができます。指定した部分だけを読み込むこともできるので、大規模なプロジェクトでも軽快に設計を進められます。



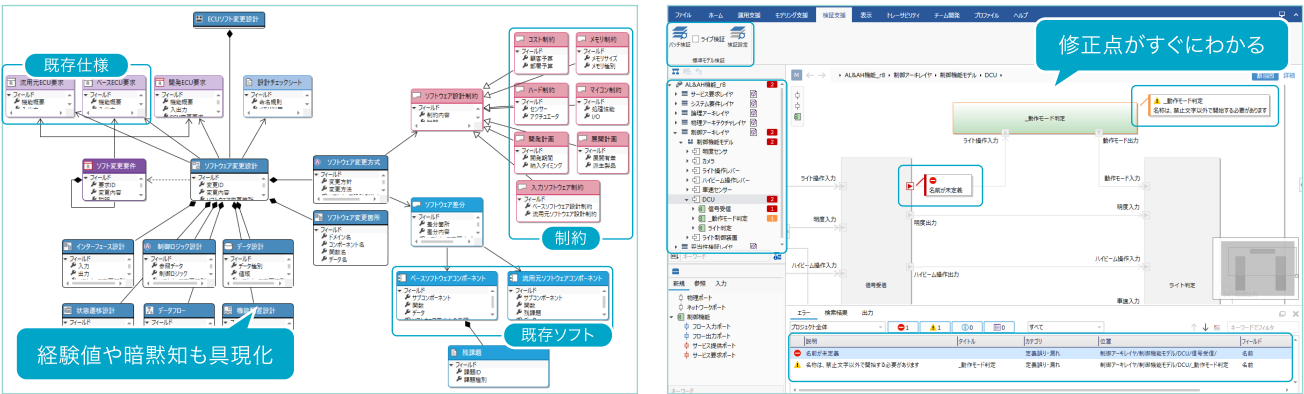
トップダウン開発への適用例

それぞれの工程の成果物とその関連をメタモデルとして定義し、適切なビューを割り当てることで、工程を跨いでアクセシビリティの高い運用が可能です。



派生開発への適用事例

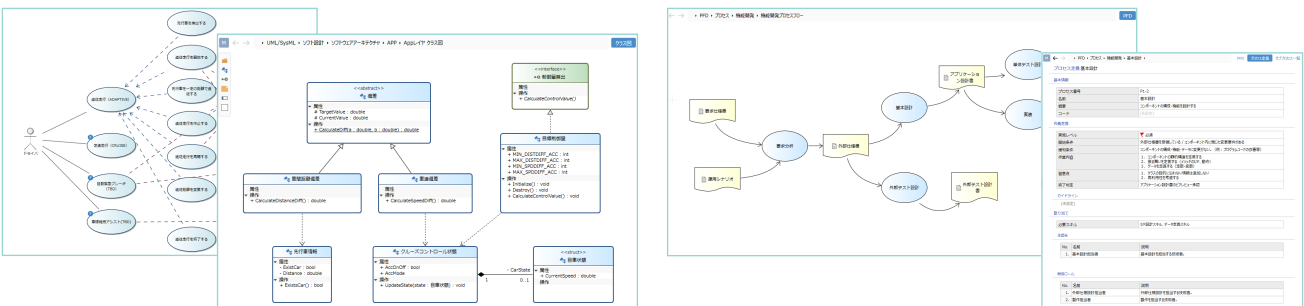
既存資産や固有のルールを活かして進めるボトムアップ開発にも適用できます。



既存資産や制約をメタモデル化
担当者の頭の中しかない経験値や暗黙知をメタモデルとして具現化し、組織の標準設計手法にできます。

開発ルール違反チェックのプラグインを追加
製品固有の開発ルールへの違反チェック機能を追加し、既存資産に潜在している不具合も検出できます。

その他の設計への適用事例



株式会社デンソークリエイト Next Design 営業窓口

詳細は営業窓口までお問合せください。✉ ndsales@denso-create.jp

製品サイト

<https://www.nextdesign.app>



設計レビュー支援ツール

R Lightning Review

誰でも毎日、直感的な設計レビューを。

お知らせ

Lightning Review 評価版のご案内

期間限定ですべての機能が利用できます。同僚の方やチームメンバーへの配布は自由です。もちろん無料でお使いいただけます。

Lightning Review 製品サイトにて申し込み受付中

Lightning Review 製品サイト

<https://www.lightning-review.com/>



株式会社デンソークリエイト Lightning Review 営業窓口

 lsales@denso-create.jp

DENSO
Crafting the Core



R Lightning Review

自動車業界の開発現場から生まれた 設計レビュー支援ツール

自動車向けソフトウェアはますます高機能化が進み、複雑化かつ開発規模は年々増加しています。また、安全性の厳格化や自動運転技術などの普及により、高度な品質を必要とする傾向にあります。このような状況下で、現場には効率的かつ高品質なソフトウェア開発が求められています。製品の品質確保のカギとなるのが、設計成果物に対するレビュー（設計レビュー）です。レビューを実施することで、品質の向上につながります。また、次工程に進む前に問題が解消するため、手戻りの減少が期待できます。

レビューにおける悩み・問題

指摘の意図が
伝わらない

ヌケモレが発生する

レビューの記録に
手間がかかる

どう修正されたか
管理できていない

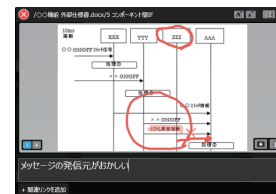
Lightning Review はデンソークリエイトの開発現場における設計レビューの悩みや問題に向き合い、製品に活かしてきた現場生まれのツールです。

毎日のように実施しているレビュー自体の品質や生産性も良くしたい、という思いを実現しました。

Lightning Reviewの特長

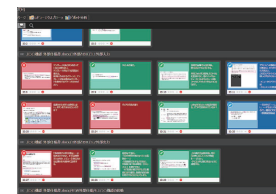
見たままを“ダイレクト”に

手書き感覚で指摘・修正箇所を記入し、イメージとして記録。問題が明確に伝わるため、メンバー間の認識のズレが無くなります。



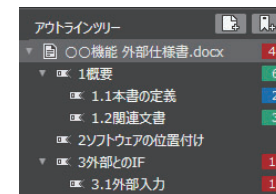
一目で把握できる

修正状況を視覚的に表示。修正漏れを無くし、修正確認完了まで確実にサポートします。



バラツキが見える

指摘の検出状況を見える化。指摘の有無がすぐに分かるため、ヌケモレなくレビューが実施できます。



レビューが変わる、現場が変わる

誰でも簡単に、
毎日のレビューを
やり切れる

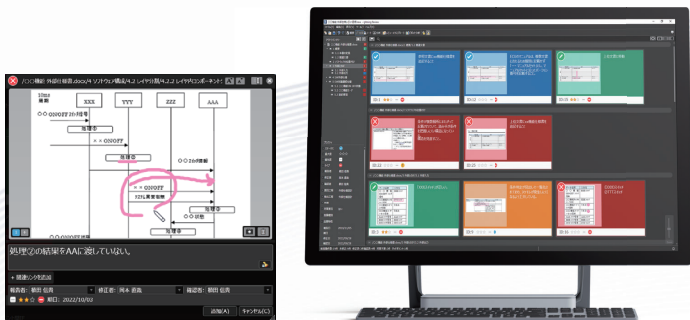
現場の資産を
活かせる

改善ポイントが
素早く見つけられる

開発現場の願いを実現

誰でも簡単に、毎日のレビューをやり切れる。

キャプチャした画面イメージに直接場所や意図を書き込む、手書き感覚で指摘を記録できます。イメージを共有することで問題が明確に伝わり、メンバー間の認識のズレを無くします。また、対応状況も視覚化されるため、修正の遅れや漏れが一目瞭然です。これにより、レビュー対象の隔々まで漏れなくレビューを実施し、修正完了まで確実にやり切れます。



見たままを"ダイレクト"に

指摘・修正箇所をイメージでダイレクトに記録

画面をキャプチャし「ここ」や「どこ」といった詳細を書き込む、まるで成果物に直接記入するような感覚で指摘や修正結果を記録できます。何が問題か、どう直すべきかなどの意図が明確になるため、伝え間違いなどの誤認識も防げます。複数の画像を登録できるため、横展開漏れを防ぐことができます。

場所や意図を自在に表現

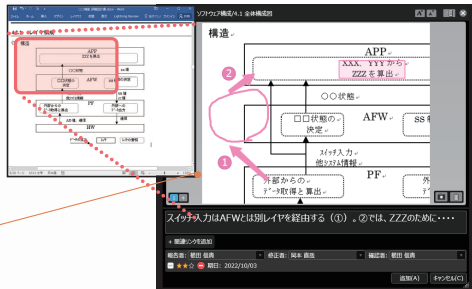
ペンによるマーキングはもちろん、番号付きのスタンプや矢印など様々な表現が可能です。伝えたいことを簡単に記録できます。

成果物を開かずにダイレクトに修正確認

1画面で指摘・修正内容を見比べて確認できます。確認の効率が上がり、確認1つ1つにしっかり時間を使えるようになります。

レビュー対象成果物

画面に映るものであればどんな形式でもレビュー可能



一目で把握できる

指摘・修正の状況が視覚的にわかる

アイコンと色の組み合わせで修正状況が一目で把握できます。修正が漏れている箇所もすぐに見つけることができます。



複数のレビュー状況を素早く確認

レビュー実施状況をまとめて一覧表示、プロジェクトや案件ごとに管理できます。計画をもとに実施漏れや未修正項目の有無を瞬時に確認できます。



遅れがあるレビューを簡単に特定

ワークスペースフォルダ	名前	ステータス	計画実施日	実績実施日	未修正	修正済	確認済	対応不要	総件数	不具合	指摘	リード
すべて	〇〇機能CR	承認済み	2022/03/13	2022/03/13			6	1	7	6	1	
個別のビュー	〇〇機能外部API仕様CR	承認済み	2022/02/24	2022/02/24			10		10	10		
XX開発プロジェクト	〇〇機能外部仕様CR	承認済み	2022/02/19	2022/02/19			13		13	13		
〇〇機能対応	〇〇機能設計DR	承認済み	2022/03/09	2022/03/09	1	2	21		25	21	3	
〇〇社会向け開発	〇〇機能 XCDボートネット制作CR	承認済み	2022/04/06	2022/04/06	2	3			5	5		
システム開発プロジェクト	〇〇機能 YCDボートネット制作CR	承認済み	2022/03/09	2022/03/09	5				5	5		
製品開発プロジェクト	〇〇機能 YCDボートネット設計DR	承認済み	2022/03/02	2022/03/02			11		11	9	2	

複数のプロジェクトを横断して管理

複数のレビュー状況をまとめて確認できる「レビューエクスポーラ」

指摘修正漏れや実施遅れのレビューが一目瞭然

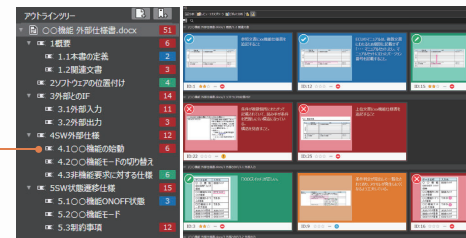
バラツキが見える

指摘の検出状況が見える

レビュー対象の章やページ毎に指摘件数と対応状況を色付きで確認できます。指摘の多い箇所やレビューの実施漏れを素早く確認できます。

レビュー対象の構造を自動解析

Word/Excel/PowerPointなどのOffice文書やPDF、ソースコードの構造を自動解析します。指摘登録時に解析したページ番号や章番号を自動で記録するため、指摘箇所を入力する必要はありません。



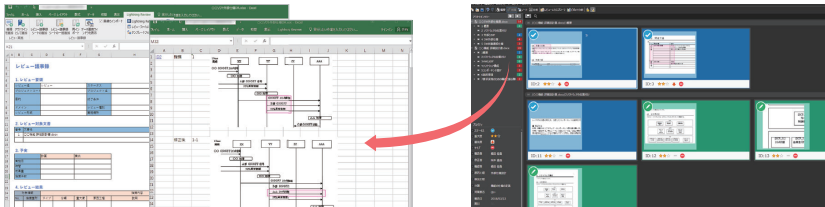
現場の工夫や仕組みと柔軟に連携

現場の資産を活かせる

Excelで作成したレビュー議事録を、顧客や委託先に提出したり業務報告に使用していませんか。
Excel連携アドインを使えば、マウス操作だけでExcelとLightning Reviewが連携。
レビュー結果をExcelのレビュー議事録にインポートできます。今までの工夫や仕組みから変える必要はありません。

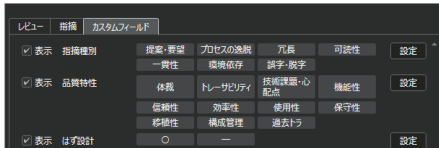
報告や提出は今までどおりExcel 帳票で

ボタン1つでExcelファイルにレビューの結果をインポートできます。指摘内容はもちろん、キャプチャしたイメージもインポート可能なため、これまでよりも確かな情報を残すことができます。



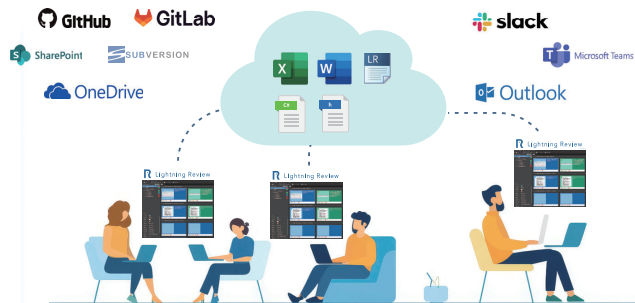
独自の属性を追加して管理

Lightning Review では、あらかじめ用意されている属性に加え属性や選択肢を自由に定義できます。
組織やチームで必要となる情報を定義することで、レビューに関する情報は全て Lightning Review で管理できます。



GitHub や Slack などの外部ツールとも連携

「GitHub」や「SharePoint」で管理されているドキュメントを対象としたレビューが行えます。また、「Slack」「Teams」「Outlook」などを通じて、指摘登録や修正確認を行ったことをメッセージできるので、迅速な情報共有が可能です。



現場に負荷をかけない Lightning Review の工夫

レビュー結果をファイルベースでやりとり
レビュー結果を1つのファイルに記録します。Excelファイルやテキストファイルと同じ感覚で管理できます。構成管理や顧客・委託先への展開、バックアップが簡単です。

会議や報告にそのまま使えるレポート出力
ワンクリックでPDF形式のレポートを出力します。指摘内容はもちろん表紙や目次も自動的に生成します。

運用に合わせてレビューをカスタマイズ
レビューの観点や種類を簡単に定義でき、集計や分析の対象として追加できます。これまで実施してきたレビューの工夫を継承することが可能です。

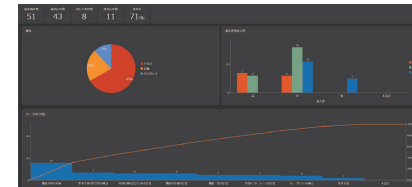
確かな情報が現場改善に活きる

改善ポイントが素早く見つけられる

レビュー結果はプロジェクトひいては会社の資産であり、次のプロジェクトや他業務に活かすことが理想です。
Lightning Review の分析機能では、レビュー結果を簡単かつ自由自在に分析できます。
現場が入力した「信頼できるデータ」を分析することで、現場が本当に喜ぶ改善策につながります。

指摘の傾向を分析

指摘の種類や重要度別の抽出件数など、レビュー毎に細かく分析できます。
集計作業は不要のため指摘の傾向を手軽に分析できます。



指摘の傾向を素早く確認できる「分析ページ」

プロジェクト全体のレビュー品質を見える化

複数のレビューの指摘データに対して、開発対象のモジュール別、機能別、あるいは工程別といった様々な視点で指摘データを分析することができます。品質上注意すべき対象が見えてきます。

レビューやプロジェクトを横断分析

複数のレビューやプロジェクトを横断して分析できます。
分析対象をドラッグ&ドロップで簡単に追加できます。



ピボット分析ツール

グラフによる見える化

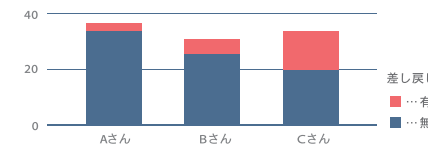
集計内容を自動でグラフ化します。問題のある項目を視覚的に確認できます。

分析例

原因工程×検出工程	原因工程			
	検出	外部仕様DR	設計DR	テスト仕様DR
外部仕様	19	2		
設計		42		
製作				17
テスト設計			10	

前工程の問題を次工程で検出。
レビューを見直すなどの対策を実施。

担当者×指摘件数(差し戻し有無)の内訳



差し戻しが多く発生している担当者を検出。
処置方針を検討、共有することで担当者を教育。

さらに現場のレビューをサポートする。現場が助かる機能を搭載。

気付いたらすぐに指摘登録

Excel や Word、PowerPoint から Lightning Review に指摘を追加することができます。ページや見出しなど、指摘箇所の情報は自動的に入力されます。

複数人による指摘の同時登録が可能

共有フォルダーに格納すれば、複数人で同時に指摘の記録が可能です。他の人の指摘内容も確認できるので、指摘が重複することもあります。

差し戻しから再修正までステータス管理

曖昧になりがちな、差し戻しや再修正といった状態をステータス管理することができます。



株式会社 **デンソー・クリエイト**

TimeTracker 営業チーム
〒460-0003 名古屋市中区錦 2 丁目 14 番 19 号 名古屋伏見 K スクエア
Email: ttsales@denso-create.jp

 **お申し込みはWebサイトへ**

30 日間 無料 体験 版

すべての機能がご利用いただけます。製品サイトにてお申し込み受付中。
<https://www.timetracker.jp/evaluation>

記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
記載内容は予告なしに変更されることがあります。

www.timetracker.jp

DENSO
Crafting the Core

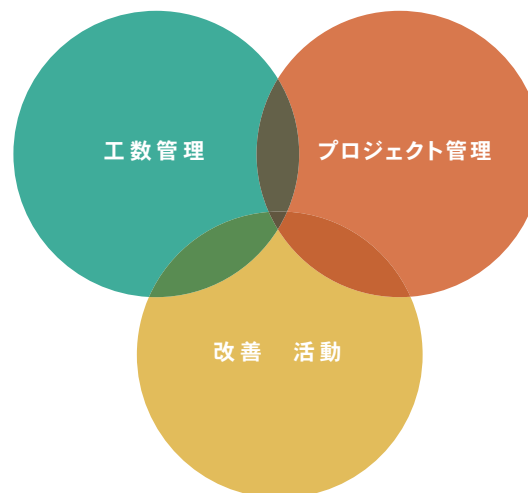
TIMETRACKER NX

現場の改善活動を支援する、 工数管理・プロジェクト管理ツール。

TimeTracker NXは、ソフトウェア開発、ハード設計、営業、Web制作などの知識労働における工数管理・プロジェクト管理のためのツールです。工数やコスト、そして進捗状況を見える化し、改善活動を支援します。

TimeTracker NXは、デンソークリエイトのソフトウェア開発現場での長年の改善活動から生まれ、育われてきました。マネージャー、サブリダー、メンバーなどの役割に応じて活用でき、プロジェクトの現場において大きな効果を発揮します。

Webアプリケーションとして実現されたTimeTracker NXでは、リアルタイムの情報共有が可能。プロジェクトやチームでの業務可視化や改善が加速します。



簡単

直感的なインターフェースで、誰でも今すぐ始められる。



可視化

工数や進捗状況を視覚化することで、見えにくい現場の状況が見えてくる。



柔軟

現場に合わせて使えるから、全員が無理なく続けられる。

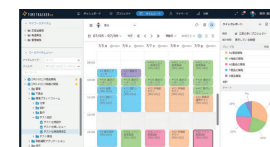


改善

問題の所在が明確になるから、事実に基づく改善活動が加速する。

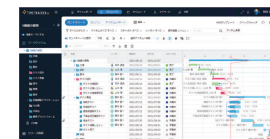
改善につながる「正確な事実」を計測・分析。 現場志向の工数管理ツール。

TimeTracker NXは、プロジェクトや業務の改善に活用できる工数管理ツールです。直感的に使えるインターフェースだから、毎日たった1分の入力作業で、現場に負担なく高精度の工数を計測し、分析することが可能。このデータの蓄積が、大切な資産となります。



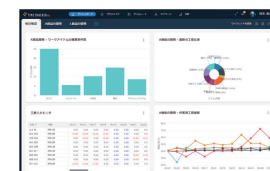
現場の実情に合わせて使える柔軟性を備えた プロジェクト管理ツール。

TimeTracker NXでは、進捗と工数がそれぞれ現場に必要な粒度で管理できたり、大まかな計画から始めて段階的に詳細化したりといった、現場視点ならではの数々の機能を備えています。これまで使っていた帳票と手軽にデータ連携することも可能で、現場のためのプロジェクト管理を強力に支援します。



見えなかった事実に向き合える。 改善の成果を味わる、改善活動支援ツール。

「実態がつかみにくい知識労働を、工数で見える化して改善活動の入力とする」という発想で、改善を支援します。過去のプロジェクトとの比較、仕事ぶりの変化、生産性などを数値で確認。改善効果も見えるから、現場が成長の喜びを味わうことができ、さらなる改善活動を加速します。



その日の工数を1分で入れられる直感的なインターフェース。

だから誰でも続けられる。



ドラッグ＆ドロップであっという間に入力

工数の入力、ツリーから担当タスクをドラッグ＆ドロップするだけ。マウス操作のみで簡単に入力でき、メンバーに負荷をかけません。



よく使うタスクはショートカットで工数入力

毎日実施するタスクは、その都度ツリーから選択しなくても、ショートカットとして登録しておくことができます。細かい点にもこだわった操作性が、工数入力の定着につながります。

グループの開発	1147.00	939.25
開発	309.00	275.25
設計	378.00	322.00
製作	400.00	342.00
品質管理	86.00	49.75
作業管理	31.00	56.25
作業管理	24.00	22.75
品質管理	29.00	35.00
製作	131.00	119.00

工数集計作業は一切不要

各メンバーが入力した工数は、自動的に集計されてプロジェクト画面に表示されます。上位階層にも自動的に積み上げ計算されるので、案件別やプロジェクト全体の工数も手間なく確認できます。



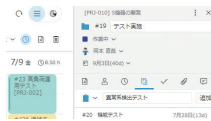
自分の時間の使い方を振り返る

入力した工数は、さまざまな視点で自動集計。リアルタイムでグラフ化されます。自分の仕事ぶりを毎日客観的に振り返ることで、事実が見えてきます。



タスクはシンプルに、工数は細かく分析

例えば、同じ「設計」タスクに使った工数でも、「レビュー」「手戻り」などの作業分類を区別して記録。工数管理とプロジェクト管理をつなぐシームレスな詳細に見える化できます。



タスクのスケジュール更新や追加もシームレスに

工数入力画面上で、タスクのスケジュールやステータス更新、さらにタスク追加も操作可能。工数管理とプロジェクト管理をつなぐシームレスなくみで、画面を切り替えるストレスから解放されます。

Outlook (Microsoft365) や Google カレンダーの予定をインポート

TimeTracker NXなら、Outlookなどのスケジューラーで管理している会議などの予定情報もワンクリックでインポート。会議が多い場合でも、工数入力に余計な手間がかかりません。

工数データ CSV/Excel 形式でエクスポート

実績工数のデータは、CSVやExcelファイルとして出力可能。Excel帳票や他システムと連携したデータの活用にも対応します。

現場の「思い」を支援する

TIME TRACKER NX
の特徴

01 入力負荷を軽減する使いやすいインターフェース

工数入力は、ドラッグ＆ドロップするだけの簡単操作。誰でもすぐに始められます。入力を支援するショートカットや予定インポートなど、毎日の入力が快適になる機能を多数搭載。直感的に使えるから、全員が無理なく続けられます。

02 改善につながる「正確な事実」を計測・見える化

TimeTracker NXは、正確な工数をもとにプロジェクトや業務を改善するという目的から生まれたツールです。最小5分単位の工数管理やシームレスに使えるレポート機能により、高精度な工数を計測し分析することができます。このことが、生産性の向上や品質改善につながります。

03 工数管理とプロジェクト管理をあわせ持つという発想

プロジェクト管理機能にも長けたTimeTracker NXなら、プロジェクトのスケジュール変更やタスク追加も、同一画面上でシームレスに操作可能。単なる工数計測にとどまらない現場の改善活動をサポートします。

工数管理で
よくあるお悩み

- Excel や他ツールでは使い勝手が悪くて挫折
- 正確な工数データが集まらない

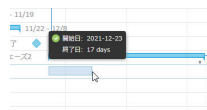
- 集計や分析が手間で改善活動につながらない



メンバーが毎日無理なく
工数を入力できる「タイムシート」

現場の実情に合わせられる柔軟性と表現力。

今までの仕事のやり方を変えず、 すぐに始められます。



手書き感覚で直感的にスケジューリング

スケジュールは線表(ガントチャート)で視覚的に管理。期間の設定は、マウスでドラッグするだけの簡単操作。ストレスなく、意図通りの計画がさくさく画面上で表現できます。



シンプルに始めて 必要なだけ詳細化

プロジェクト立ち上げ時に詳細な計画を立案することは難しいものです。TimeTracker NXなら、大まかな計画から始めて段階的に詳細化していくことができます。より現実的で効率的な運用が実現できます。



現場志向のスケジューリングを支援

各タスクのスケジュールの前後関係を表すリンクの設定、納期から逆算して計画するバックワードスケジューリング、納期の固定など、現場の実情に合わせた計画を支援します。



ステータスを定義して 具体的に進捗管理

進捗状況において進捗率は重要な指標です。ただ、数字だけでは具体的な状況が見えません。ステータスを設定することで、進捗状況が明確になります。完了までのステップを定義するだけなので、進捗管理が分かりやすくなりシンプルなものになります。



見積り根拠となる 高精度のコスト管理

TimeTracker NXなら、収集した高精度の工数データで詳細タスクごとにコストを自動計算。プロジェクトのコスト管理やコスト超過の原因分析に活用できます。勘や経験に頼りがちな見積りも、実績コストの活用により精度向上が期待できます。



カンバンで手軽にアイテム管理

プロジェクトのアイテムをカードで表示することで、チームのメンバー全員でアイテムとその状態を一目で共有できます。

プロジェクトをリアルタイムに共同編集

TimeTracker NXでは、他のメンバーの編集状態を気にすることなく、同時にプロジェクトを編集することができます。そして変更した内容は、各自のプロジェクト画面上に即座に反映。プロジェクト内のスムーズなコラボレーションを促進します。

コスト単価・所属組織の履歴管理で高精度のデータ集計

プロジェクトの途中でメンバーの単価が変わったり、組織間の異動があった場合でも安心です。TimeTracker NXなら、単価や所属組織の履歴も管理できるので、その時点の単価や組織に基づいた集計が可能です。現実に即したデータ集計を支援します。

現場志向の 管理機能を備えた

TIME TRACKER NX
の特徴

現場でのこれまでの工夫を活かしてすぐに始められる

現場で安心して使えるよう、簡単に使い始められ、そして使い続けられることにTimeTracker NXはこだわっています。例えば、Excelとの連携。現場で培ってきたやり方や工夫が詰まった帳票と連携し、スムーズにツールの移行や共存が実現できます。

現場が求める柔軟な計画作成を実現

実際のプロジェクトでは、まずは大まかに計画を立てて段階的に詳細化するというものも多いでしょう。TimeTracker NXなら、段階的に必要なタイミングで必要な粒度にプロジェクト内の作業を詳細化することができ、現場の進め方に合わせて柔軟に使えます。

現場に即した柔軟な計画作成・進捗管理のしくみで日々のプロジェクト管理をサポートする「プロジェクト」

工数管理と高度に融合、プロジェクトの状況を可視化

「タイムシート」で各メンバーが入力した工数は、プロジェクト画面上に即座に反映されます。工数やコストの状況をリアルタイムで把握するとともに、進捗状況もガントチャートのイナズマ線で一目瞭然。工数管理とプロジェクト管理が高度に融合し、プロジェクト全体の可視化を促進します。

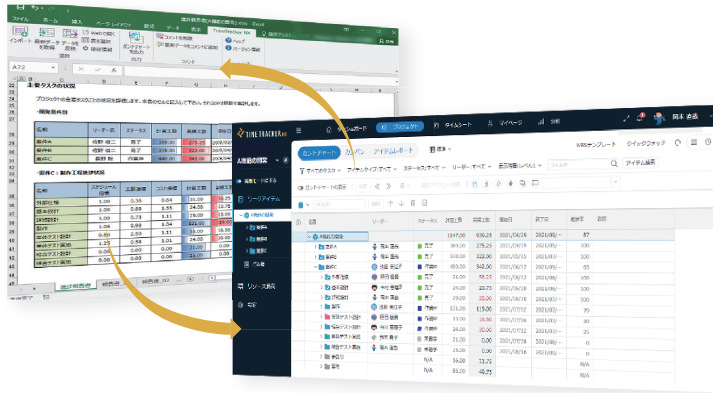
プロジェクト管理でよくあるお悩み

- Excelでは度重なる計画変更が大変
- 管理ツールの機能に合わせなければならず使いにくい

- 進捗状況の定量化や見える化が難しい
- プロジェクト管理と工数管理を一元化したい

普段の帳票が、あっという間に定量的な報告書に変わります。

Excel 帳票と双方向にデータ連携。



進捗などの報告書をExcelで作成していませんか?せっかくプロジェクト管理ツールなどで定量的なデータを集めても、そのデータをExcelの報告書に転記するのは非常に手間です。TimeTracker NXの「Excel連携アドイン」なら、現在お使いの帳票とボタン1つで簡単にデータ連携。マクロなどの専門知識も不要なので、誰でも手軽に始められます。

こんな
お悩みを
解決します

- データを手作業で転記するのが面倒
- 毎週の報告書作成に時間がかかる
- 定量的な報告書を効率的に実施したい

工夫していた帳票をそのまま使える手軽さ

Excelに追加されるツールバーのボタンをクリックするだけで、Excelで選択した表を自動認識。TimeTracker NXで集めた工数やプロジェクトの進捗状況などのデータを、マウス操作だけで簡単に帳票に取り込めます。

メニュー		プロジェクト管理ツール (v1.0.0) 2024年10月27日											
ファイル		編集		表示		ツール		設定		ヘルプ		ログアウト	
新規プロジェクト	開く	保存	名前を付ける	複製	削除	表示モード	検索	ツールボックス	設定	ヘルプ	ログアウト		
プロジェクト名: プロジェクトA ステータス: 進行中 作成者: 山田太郎													
タスク一覧 (10件中 1-10件表示)													
タスクID タスク名 ステータス 担当者 開始日 終了日 優先度 進捗率													
001	タスクA	完了	山田太郎	2024-10-20	2024-10-25	高	100%						
002	タスクB	進行中	佐藤花子	2024-10-25	2024-11-05	中	75%						
003	タスクC	待機	田中健一	2024-11-01	2024-11-10	低	0%						
004	タスクD	完了	山田太郎	2024-10-15	2024-10-20	高	100%						
005	タスクE	進行中	佐藤花子	2024-10-20	2024-11-01	中	50%						
006	タスクF	待機	田中健一	2024-11-05	2024-11-15	低	0%						
007	タスクG	完了	山田太郎	2024-10-10	2024-10-15	高	100%						
008	タスクH	進行中	佐藤花子	2024-10-15	2024-10-25	中	90%						
009	タスクI	待機	田中健一	2024-11-01	2024-11-10	低	0%						
010	タスクJ	完了	山田太郎	2024-10-05	2024-10-10	高	100%						

対付付けあり:7列、対付付けなし:3列

列見出し

フィールド

名前

名前 (Name)

リーダー名

ステータス

ステータス (StatusTypeId)

計画工数

計画工数 (PlannedTime)

実績工数

(なし)

自在な分析機能で、改善が加速します。

個人でも、プロジェクト横断でも、すばやく見える化。

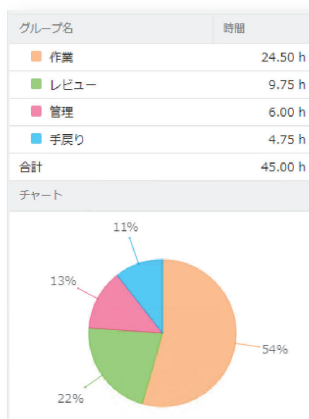
こんな
お悩みを
解決します

- データの集計が面倒で時間がかかっている
- 忙しい中でも業務を見る化したい
- 集計した工数をさまざまな角度から分析したい

せっかく集めた工数データも、そのままでは改善につながりません。

しかし、分析のためにデータを毎回Excelに出力するのは面倒なもの。

TimeTracker NXでは、ドラッグ&ドロップの直感的な操作と多彩な分析軸で、工数のリアルタイム分析と見える化が可能です。



工程別実績工数 - 工数とコスト

期間: 2021/03/01 ~ 2021/07/31 クイック設定

アイテムタイプ: すべて | 小計 | 総計 | 折り畳み | 集計 | レイアウト変更時に

すべてのフィールド

値: 実績工数(h)

行: プロジェクト

列: 作業分類

プロジェクト	レビュー	作業	修正	手戻り	管理	実績工数(h)
B製品の開発	15.50	68.50	17.50	20.50	2.50	124.50
L商品の開発	81.00	757.50	0.00	0.00	0.00	838.50
R商品開発	35.50	321.50	30.50	83.00	6.00	476.50
S編組の開発	25.00	103.50	0.00	7.00	0.00	135.50
T商品の開発	16.50	68.50	0.00	25.00	0.50	110.50
総計	173.50	1319.50	48.00	135.50	9.00	1685.50

プロジェクト横断で多彩な分析が可能な「ピボット分析」

自分の仕事を振り返り

「工数の多いプロジェクト」などのレポートを選択するだけで、簡単に自分の仕事を視覚化。何にどれだけの時間を使っているか、実績の色分けとグラフにより一目で把握できます。無駄な時間を洗い出すことで、改善につながれます。



ドラッグ & ドロップで工数・コストを自在に集計

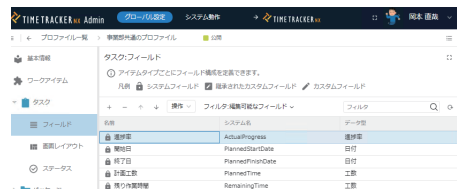
TimeTracker NXのピボット分析があれば、もうExcelでの分析は不要です。工数やコストデータの集計軸は、ドラッグ操作で自由自在に入れ替え。見たい情報がすぐに確認できます。プロジェクト別、メンバー別、組織別、月別などあらゆる角度から計画と実績のデータが分析できます。

プロジェクト	総計	
	計画コスト	実績コスト
A機能の開発	¥ 2,781,667	¥ 2,974,250
B製品の開発	¥ 2,375,500	¥ 566,000
L商品の開発	¥ 1,646,400	¥ 1,960,000
O製品の試作	¥ 468,625	¥ 838,000
P機器の開発	¥ 1,056,000	¥ 695,000

さまざまなシステム設定も、Webの画面で一元管理。

プロジェクトの各種設定を一括適用

タスクのステータス定義や管理フィールドは、プロジェクトごとにカスタマイズして使うと便利ですが、一つ一つ設定するのは煩わしいものです。TimeTracker NXでは、各種設定を「プロファイル」としてシステム単位でまとめて定義しておけば、プロジェクトの新規作成時に繰り返し適用できます。プロジェクトをスムーズに立ち上げることができます。



アクセス制御で、セキュリティも安心

プロジェクトで扱うデータには、関係者外秘のものや他部署には開示できないものがあります。TimeTracker NXでは、そのようなセキュリティにも配慮。使用可能な機能とアクセス可能なデータ範囲が細かく設定できるので、安心してご運用いただけます。

システムロール	機能	許可	アクセス範囲
ユーザーに割り当てられるシステムロール			
システムロール			
ゲスト			
システム管理権			
マネージャー			
リーダー			
開発			
外部スタッフ			
担当			
部長			

他にもさまざまな機能を搭載、幅広いニーズに対応

- Active Directory連携で、Windowsのログオンパスワードを適用可
- 1つのサーバーで3000人規模までの運用に対応
- 利用可能なタスクの属性(フィールド)をシステム単位でカスタマイズ
- タスクのステータスを独自に定義し、プロジェクトに適用
- ExcelやCSV形式で実績工数データをエクスポート

Edition

利用目的に応じて選べる2つのエディション。

Standard Edition

工数入力による業務の見える化を中心に、基本的なプロジェクト管理機能も搭載。工数管理・プロジェクト管理が手軽に始められます。

こんなお客様に

- 工数を手軽に入力し、管理したい
- 作業単位の工数を把握したい
- 進捗管理をこれから始めたい
- ガントチャートを使って作業のスケジュールを管理したい

Professional Edition

工数管理機能に加え、本格的なプロジェクト管理やデータ分析にも対応。

こんなお客様に

- 工数管理だけでなく、プロジェクト管理もしっかり行いたい
- 作業内容に応じて、進捗状況をきちんと管理したい
- メンバーの負荷状況を見る化したい
- 工数データをいろいろな面から分析したい
- 既存のExcel帳票を活かしながらプロジェクトを管理したい